

（一）種米 紛起 各種事情ニ因リ急遽ニ解決セザルニト認メラル

株式會社津上製作所労働爭議其後ノ状況左記ノ通り

記

一 経過

の事業主側

事業主側ニ在リテハ前報（第三報）ノ如ク元社長津上退勤一派ノ策動ニ因ル優秀職工吉田廣司以下八名ノ辞職申出ニ對シ又ニル方極ヲ以テ引留策ヲ講シタルニ 何レモ辞意強固ニシテ翻意ノ見込ナキタメ一月二十九日夫々其ノ申出ヲ許容セルカ 尚此ノ種策動ノ繼續マラルルヲ慮リ種々防止策ヲ講シソ、アルカ 一方幼年工約一〇〇名ヲ收容中ノ津上寮（寄宿舎）ノ所在地カ爭議団本部ニ接近シ居レル關係上爭議団側發行ノ各種文書カ屢々全寮ニ流入シ 又爭議団側ニ於テモ之等幼年工ニ對シ相當積極的ニ働キ掛ケツ、ア

ルタメ之カ監督ニ關シテハ特段ノ注意ヲ拂フト共ニ一月廿九日附ヲ以テ之等幼年工ノ親権者ニ對シテ爭議ノ發生原因並ニ経過及會社ノ態度ヲ明確ニセル文書ヲ發送シテ了解ヲ求ムル等津上一派並ニ爭議団側ノ策動ニ因ル従業員ノ動搖防止ニ奔命中ニシテ爭議団側ニ對シテハ依然トシテ強硬態度ヲ採續シソ、アリ

(二) 爭議団側

- 爭議団側ニ在リテハ引續キ
 - 日本精工ノ兄弟諸君ニ對シ
 - 退職手当ノ高率實施貸銀値上ノ要求セヨ
 - 高マル應接ノ波賃上斗争へ拍車ヲカケルスト、成果
 - 東京計器ノ同志ニ告グ
- 等ノ概文ヲ發行シテ津上製作所従業員並ニ附近大工場（日本精工株式會社北辰電機製作所 日本酸素株式會社 東京 2.